感染症発生動向調査
2020年第42週
（10月12日～10月18日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が57例（男性37例（20歳代12例，30歳代4例，40歳代6例，50歳代9例， 60歳代4例，学生2例（年齢非公開）），女性17例（10歳代3例，20歳代6例，30歳代1例，40歳代2例，50歳代 3例，学生2例（年齢非公開）），未就学児3例（年齢・性別非公開））あり，累積報告数は1,371例となりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html

・ **レジオネラ症（肺炎型）**の報告が1例（70歳代女性）ありました。症状は発熱・咳嗽・肺炎です。本年の累積報告数は12例となりました。

・ **クロイツフェルト・ヤコブ病**の報告が1例（80歳代男性）（第34週追加分）ありました。症状は進行性認知症，ミオクローヌス，無動性無言状態です。本年の累積報告数は2例となりました。

・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が1例（40歳代男性）（第41週追加分）あり，症状はショック，急性呼吸窮迫症候群，軟部組織炎です。感染地域は国内で，感染経路は創傷感染です。本年の累積報告数は10例となりました。

・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例（0歳代男性）ありました。症状は発熱，痙攣，菌血症です。本年の累積報告数は21例となりました。

・ **播種性クリプトコックス症**の報告が1例（80歳代女性）ありました。本年初めての報告例です。症状は発熱，真菌血症で，感染地域は国内，感染原因は免疫不全です。

◆ 今週のトピックス：＜梅毒＞

本年の京都市の梅毒累積報告数は第42週までで49例（男性27例，女性22例）となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

（性別，年齢，症状，感染地域※，感染経路※の順に掲載。ただし，結核は除く。）

・ **二類：結核　6例（肺結核 3例，その他結核　2例，潜在性結核感染者 1例）うち喀痰塗抹陽性なし**
【1月以降の累積報告数 209例（肺結核 95例，その他結核 43例，潜在性結核感染者 71例）うち喀痰塗抹陽性 45例】
・ **指定感染症：新型コロナウイルス感染症 57例**【1月以降の累積報告数 1,371例】
・ **四類：レジオネラ症 1例**【1月以降の累積報告数 12例】
・ **五類：クロイツフェルト・ヤコブ病 1例**【1月以降の累積報告数 2例】
・ **五類：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 10例】
・ **五類：侵襲性肺炎球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 21例】
・ **五類：播種性クリプトコックス症1例**【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

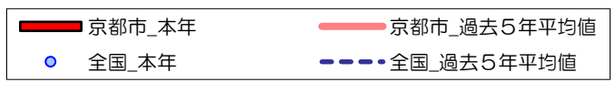
（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0．00	0
小児科	①　感染性胃腸炎	1．26	54
（降順5位まで）	②　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0．56	24
	③　突発性発しん	0．44	19
	④　水痘	0．28	12
	⑤　ヘルパンギーナ	0．19	8
眼科	流行性角結膜炎	0．00	0

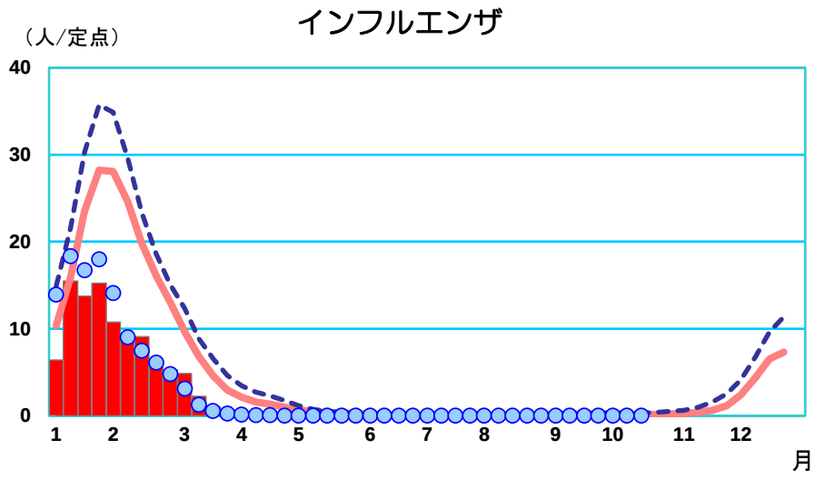
【次ページ以降の主な内容】
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜梅毒＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（ 注 ）京都市のデータは，2020年10月21日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

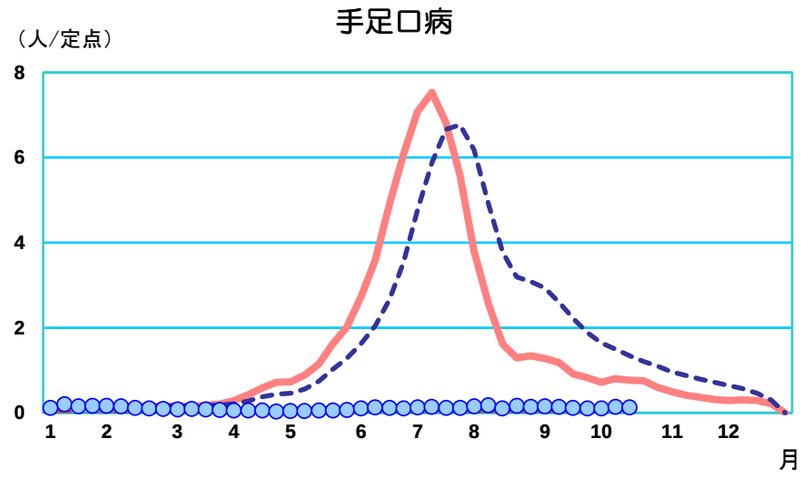
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



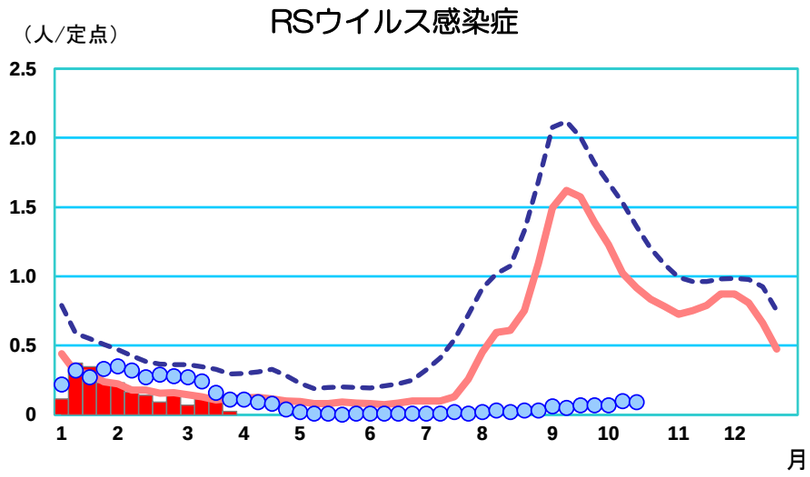
インフルエンザ



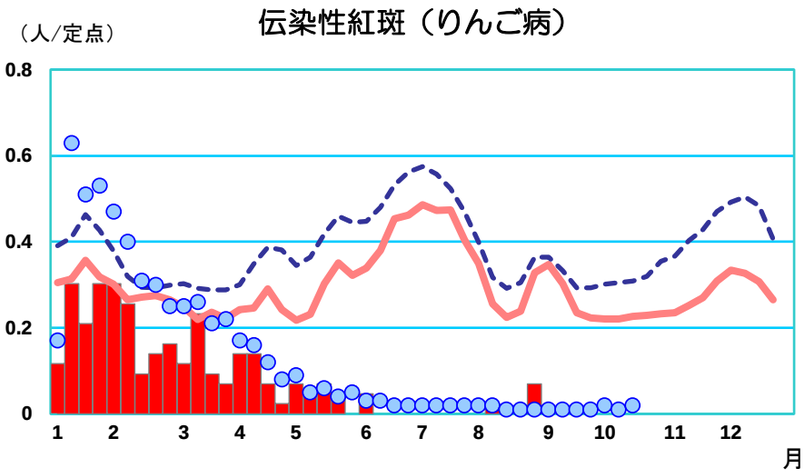
手足口病



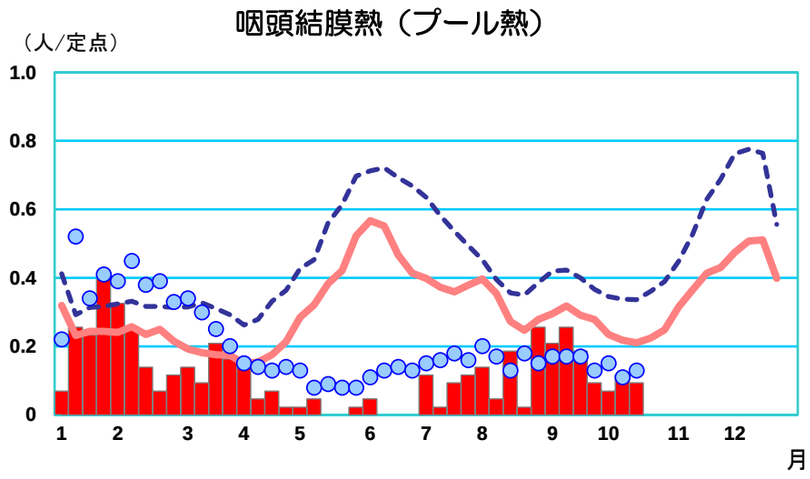
RSウイルス感染症



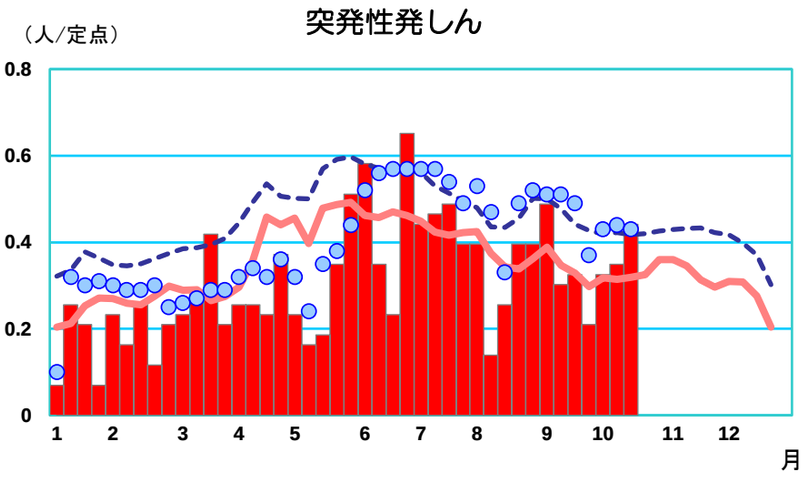
伝染性紅斑（りんご病）



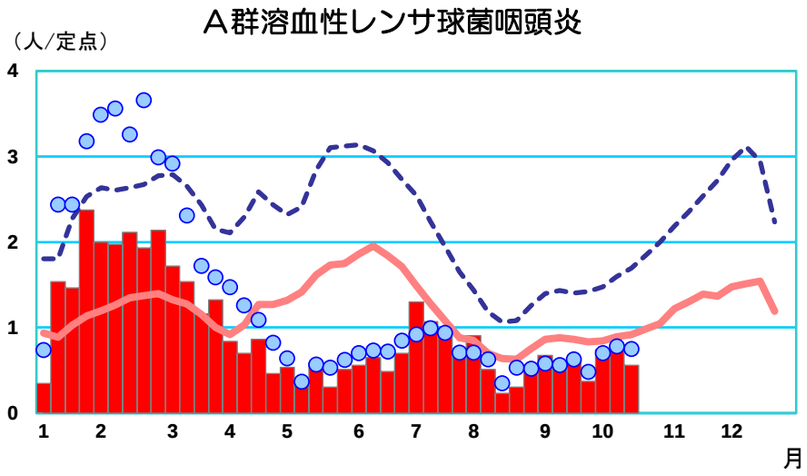
咽頭結膜熱（プール熱）



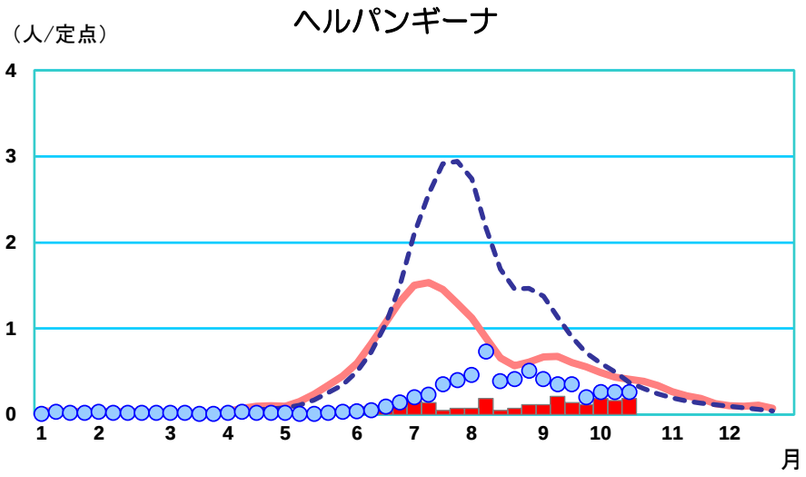
突発性発しん



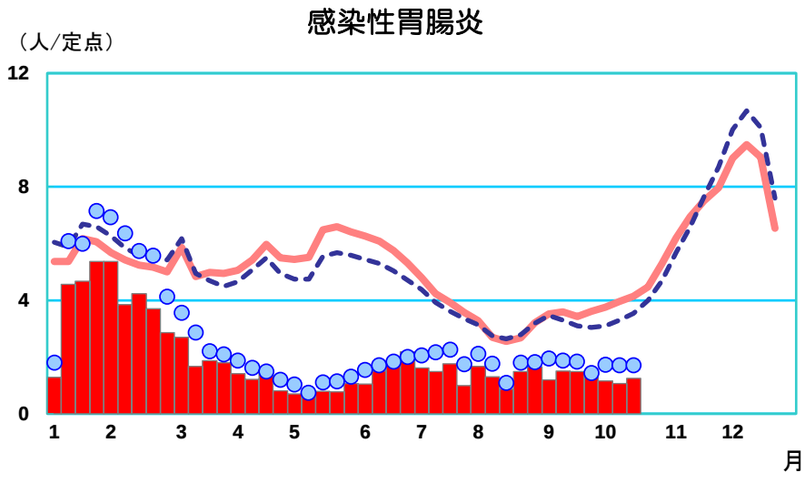
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎



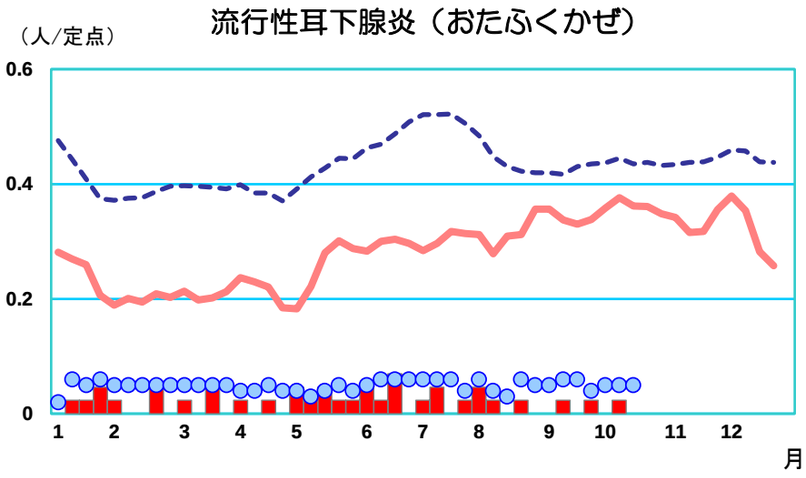
ヘルパンギーナ



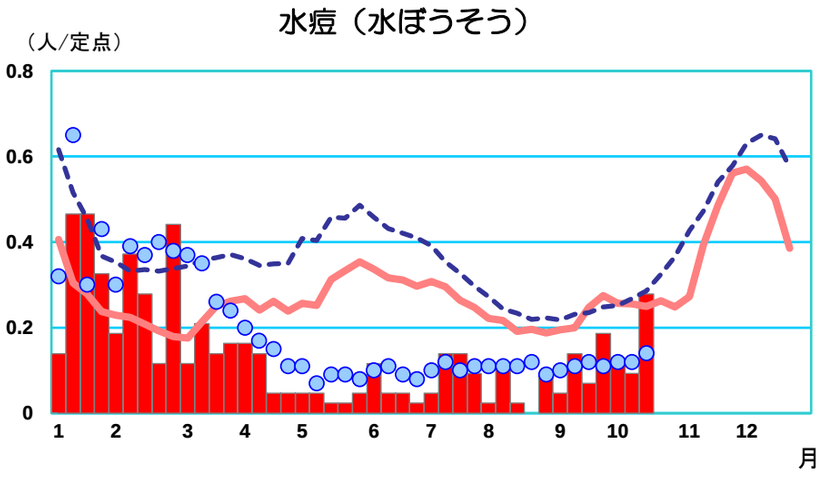
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

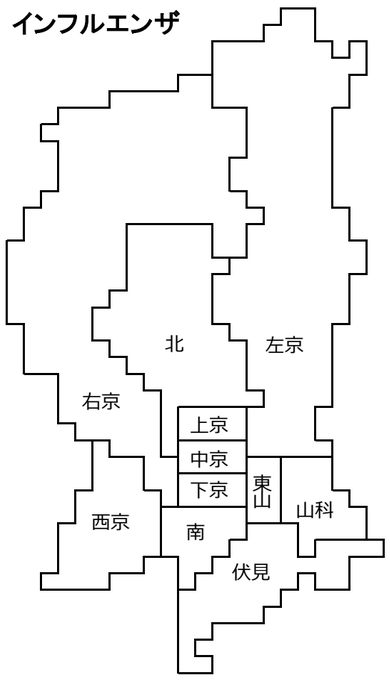


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２０年 第 42 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

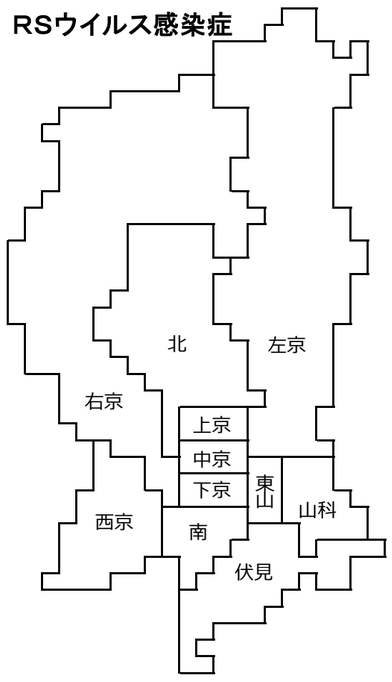
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

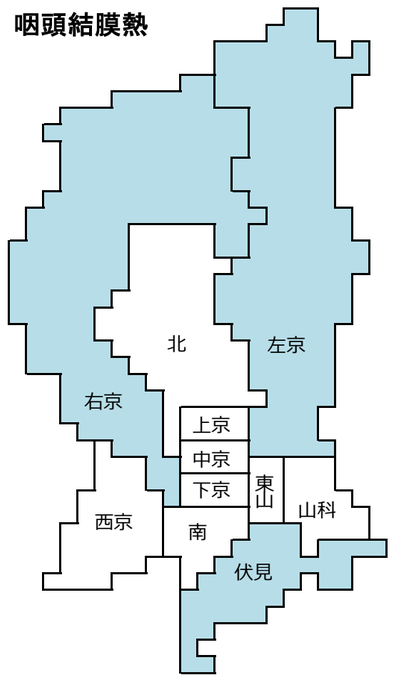
RSウイルス感染症



警報開始 －
警報終息 －
注意報 －

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

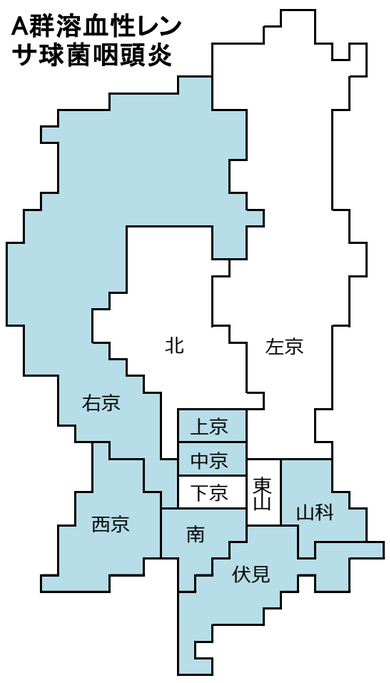
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 －

京都市 0.09	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0.29
西京	0

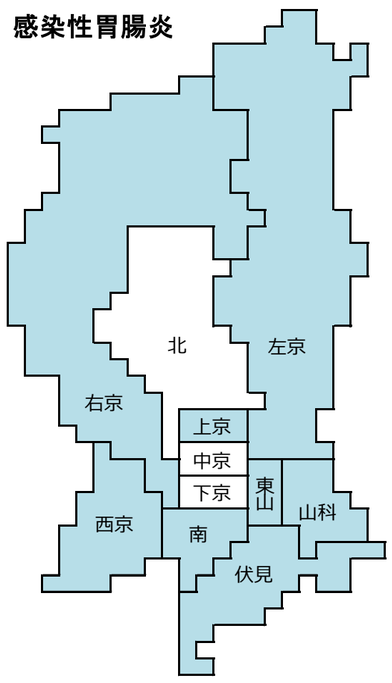
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 －

京都市 0.56	
北	0
上京	0.67
左京	0
中京	0.33
東山	0
山科	1.20
下京	0
南	0.33
右京	1.60
伏見	0.43
西京	0.60

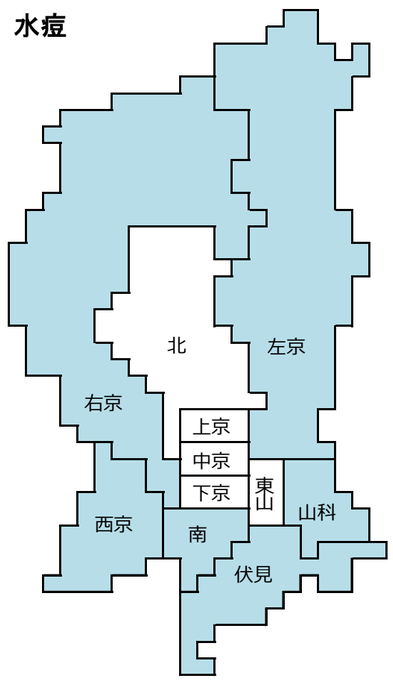
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 －

京都市 1.26	
北	0
上京	0.33
左京	0.75
中京	0
東山	2.50
山科	0.60
下京	0
南	1.33
右京	0.80
伏見	3.00
西京	2.60

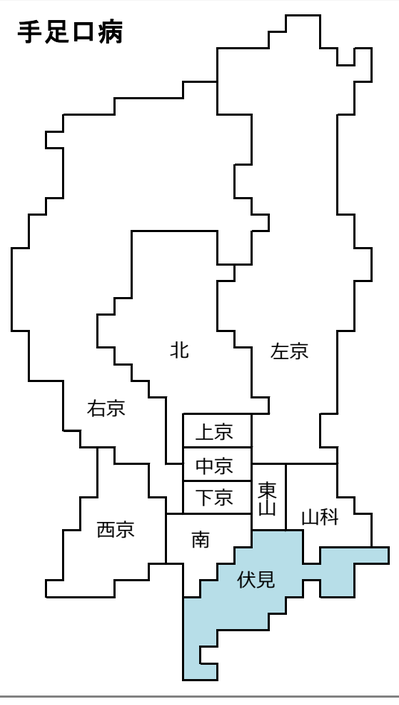
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.28	
北	0
上京	0
左京	0.75
中京	0
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0.33
右京	0.20
伏見	0.29
西京	0.80

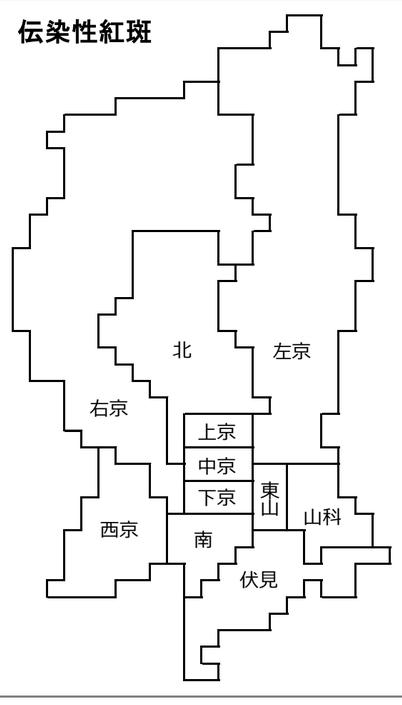
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 －

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0.14
西京	0

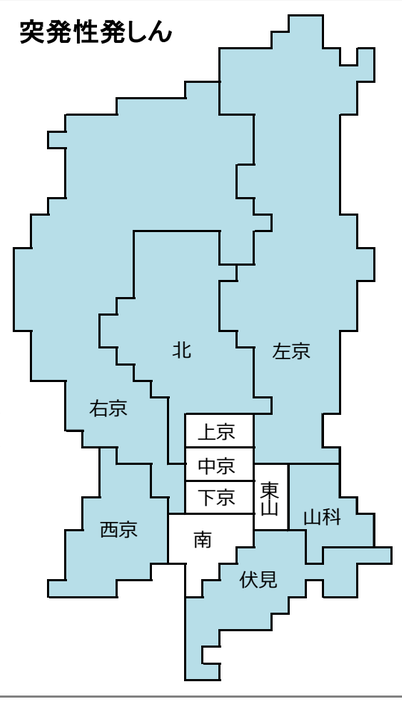
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 －

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

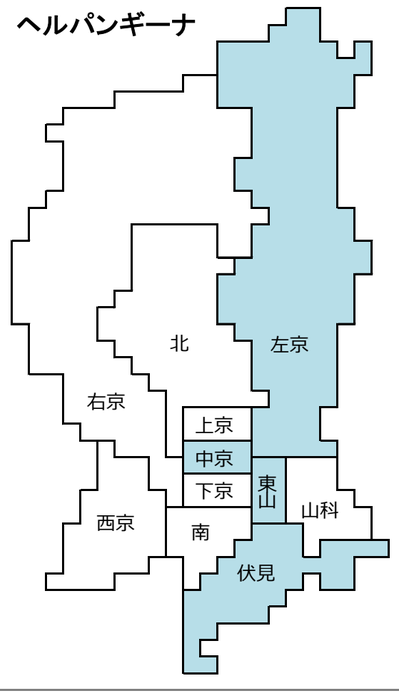
突発性発しん



警報開始 －
警報終息 －
注意報 －

京都市 0.44	
北	0.25
上京	0
左京	0.75
中京	0
東山	0
山科	0.80
下京	0
南	0
右京	0.40
伏見	0.71
西京	0.80

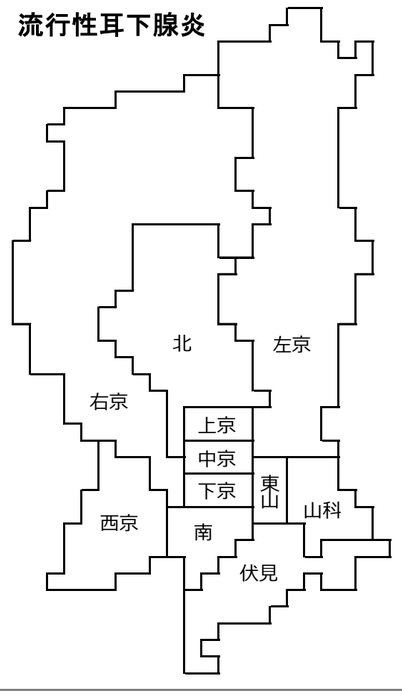
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 －

京都市 0.19	
北	0
上京	0
左京	0.50
中京	0.67
東山	0.50
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0.43
西京	0

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

第42週(10月12日～10月18日)トピックス：＜梅毒＞

■発生動向

本年の京都市の梅毒累積報告数は第42週までで49例(男性27例，女性22例)となりました。本市の年間累積報告数は2015年頃から増加し，直近3年間は70例前後で高止まり(65例～71例)しており，本年も同様の推移となっています(図1)。

梅毒は若齢女性患者の増加が問題視されており，京都市および全国の2014年から今週までの累積報告数を年齢階級別・男女別に見ると，京都市，全国ともに男性は20歳代から50歳代まで年齢幅が広いのに対して，女性は10歳代から30歳代までで女性全体の約80%を占めており，特に10歳代，20歳代女性の累積報告数は男性よりも多くなっています。(図2)。

特にこの年齢層の女性は妊娠に適した年齢でもあり，妊娠した際に梅毒を患っていた場合，胎盤を通して胎児に感染し，死産，早産，奇形が起こることがある，先天梅毒の子どもが生まれるリスクが高くなります。女性の報告数が増えるにしたがって，先天梅毒の報告数(全国)も2014年の10例から2019年には23例へと増加しています(表1)。

■症状

梅毒は，梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。感染者の患部に含まれる梅毒トレポネーマが，主に性的接触により粘膜や皮膚の小さな傷から侵入し感染します。初期症状では陰部，口唇，口腔内にしこりができますが，無治療でも症状が消失するため，見逃してしまうことも多く，感染を自覚しないまま相手に移してしまい，蔓延の原因となります。数年から数十年の長期間の潜伏の後，晩期まで梅毒を放置していると心臓，血管，脳など複数の臓器に病変が生じ，死に至ることもあります。コンドームを使用する等で予防するとともに，皮膚や粘膜に異常があった場合は，早めに医療機関を受診しましょう。

○厚生労働省「梅毒に関するQ＆A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

京都市では，平日及び土日の昼間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています(現在は予約制)。詳細については，下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html

図 1　京都市の梅毒の月別累積報告数の推移(2014年～2020年42週)

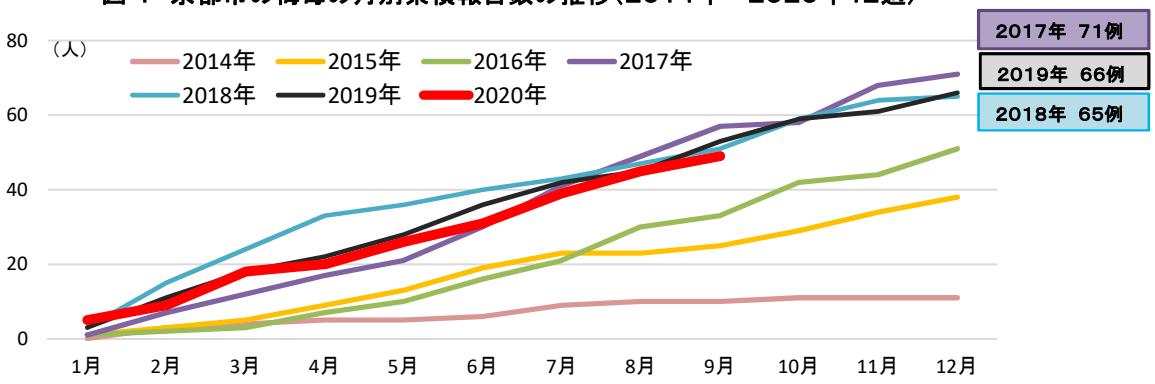


図 2　京都市および全国のの性別，年齢階級別の累積報告数(2014年～2020年42週)

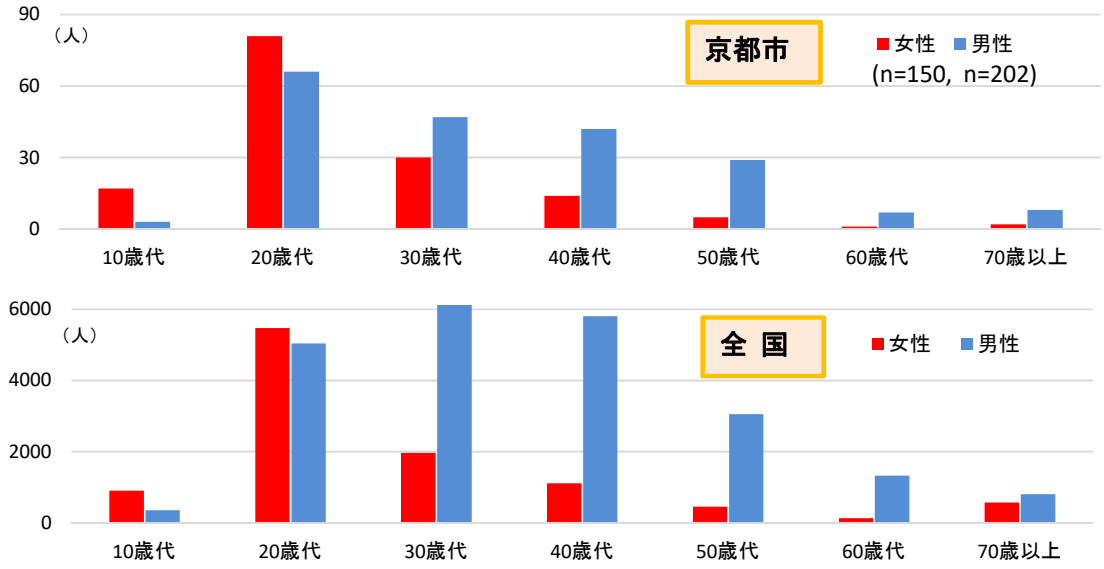


表1　全国の先天梅毒報告数(2014年～2019年)

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
１０人	１３人	１５人	９人	１７人	２３人

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第42週

疾病,行政区別報告数　　2020年10月12日～2020年10月18日　　データ入手日:2020年10月21日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－					
上京	－	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	1	－	3	3	－	－	3	2	－	－	－					
中京	－	－	－	1	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	5	－	－	－	－	1	－							
山科	－	－	－	6	3	1	－	－	4	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	1	4	1	－	－	－	－	－							
右京	－	－	1	8	4	1	－	－	2	－	－	－	－					
伏見	－	－	2	3	21	2	1	－	5	3	－	－	－					
西京	－	－	－	3	13	4	－	－	4	－	－	－	－					
京都市計	－	－	4	24	54	12	1	－	19	8	－	－	－	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	－	－	－	－	0.25	－	－	－	－					
上京	－	－	－	0.67	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	0.25	－	0.75	0.75	－	－	0.75	0.50	－	－	－					
中京	－	－	－	0.33	－	－	－	－	－	0.67	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	2.50	－	－	－	－	0.50	－							
山科	－	－	－	1.20	0.60	0.20	－	－	0.80	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	0.33	1.33	0.33	－	－	－	－	－							
右京	－	－	0.20	1.60	0.80	0.20	－	－	0.40	－	－	－	－					
伏見	－	－	0.29	0.43	3.00	0.29	0.14	－	0.71	0.43	－	－	－					
西京	－	－	－	0.60	2.60	0.80	－	－	0.80	－	－	－	－					
京都市計	－	－	0.09	0.56	1.26	0.28	0.02	－	0.44	0.19	－	－	－	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2020年第42週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年10月12日～2020年10月18日

データ入手日:2020年10月21日

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		24	-	-	2	2	-	3	3	2	1	2	2	3	-	4						
感染性胃腸炎		54	1	4	2	4	4	3	1	2	5	3	-	18	2	5						
水　　痘		12	-	-	-	-	2	2	2	2	2	1	-	1	-	-						
手 足 口 病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		19	1	7	7	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		8	-	-	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.09	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.56	-	-	0.05	0.05	-	0.07	0.07	0.05	0.02	0.05	0.05	0.07	-	0.09						
感染性胃腸炎		1.26	0.02	0.09	0.05	0.09	0.09	0.07	0.02	0.05	0.12	0.07	-	0.42	0.05	0.12						
水　　痘		0.28	-	-	-	-	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-						
手 足 口 病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.44	0.02	0.16	0.16	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.19	-	-	0.12	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1　インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第42週

週，疾病別報告数　　データ入手日:2020年10月21日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽頭結膜熱	11	8	4	3	5	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	27	16	32	32	24
感染性胃腸炎	65	64	55	50	46	54
水痘	6	3	8	5	4	12
手足口病	4	1	1	1	–	1
伝染性紅斑	–	–	–	–	–	–
突発性発しん	13	14	9	14	15	19
ヘルパンギーナ	9	6	5	8	7	8
流行性耳下腺炎	1	–	1	–	1	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	–	1	1	1	–	–
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	135	124	100	114	110	122

週，疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽頭結膜熱	0.26	0.19	0.09	0.07	0.12	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	0.63	0.37	0.74	0.74	0.56
感染性胃腸炎	1.51	1.49	1.28	1.16	1.07	1.26
水痘	0.14	0.07	0.19	0.12	0.09	0.28
手足口病	0.09	0.02	0.02	0.02	–	0.02
伝染性紅斑	–	–	–	–	–	–
突発性発しん	0.30	0.33	0.21	0.33	0.35	0.44
ヘルパンギーナ	0.21	0.14	0.12	0.19	0.16	0.19
流行性耳下腺炎	0.02	–	0.02	–	0.02	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	–	0.10	0.10	0.10	–	–
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	3.14	2.96	2.40	2.73	2.56	2.84

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。